

原発談「MY OPINION ON NUCLEAR POWER PLANT」雑感

震災以降、原発停止が原因となって、電力不足が現状の悩みとなってきました。太陽光発電も自然を破壊しながら普及してきました。日光の量が不足する、雨天続きや、冬場では、太陽光発電をカバーすべきバックアップ電源が、注目を浴びてきています。いずれにしても、原発の稼働が急がれます。火力発電のエネルギー源の高騰も問題になってきています。

私は、福島事故は防げたのではないかと今も考えています。原子炉の冷却を維持させておけば、原子炉の破壊などは発生しなかったのではないかと思ひ、残念でなりません。津波で電源が破壊し、バックアップ用の電源が、即利用できていれば、原子炉は破壊しなかったのではと考えています。誰もそんな事態になるとは考えていなかったのでしょうか。バックアップ電源をどの場所にどの程度準備しておけばいいかと言ったことも、考えていなかったのでしょうか。バックアップ電源の接続トライアルも実施されていなかったのでしょうか。ISO14001の環境マネジメントシステムにも、バックアップ電源を使用して、原子炉の破壊防止を実施すると言った記述が無かったのでしょうか。不正が長期間にわたり、平気で実施されてきた現在の企業風土を無くし、自分の事業所は、自分で守ると言った気概を持った管理を実施して行けば、近い将来、原発はどんどん稼働させることができると私は確信しています